

平成 31 年 3 月 28 日







岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ
団体名
所在地
連絡先

とくでいひえいりかつどうほうじん おかやましこどもせんたー
特定非営利活動法人 岡山市子どもセンター

フリガナ 代表者役職・氏名 代表理事 みさきみさきこ
美咲美佐子

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>御南和やかサロン</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>御南小学校区 (岡山市北区久米348番地)</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：毎週火曜日と水曜日、10時～13時 ・開催日数：84日間 (計画日数より4日減) 7月の西日本豪雨災害によりサロンも床上5センチの被害を受け、消毒、復旧のため2週間(4日間)の閉鎖を余儀なくされた。 子育て講演会：7回 「みんなでランチをしよう」：6回 ・参加者人数：のべ3,204人 (大人1,482人、子ども1,722人) 参考：初年度1,058人(一日平均15.3人) 2年目1,736人(一日平均25.9人) 3年目3,266人 (一日平均36.6人) ・屋外や室内で異年齢の子どもが遊んだり交流したり、また、季節を感じ、文化に触れることができる体験の場を開催。主なものとして、お花見、水あそび、ハロウィン、クリスマス会、お正月しめ縄作り、焼き芋など。 ・子育てに関する有意義な学習会や様々な団体との交流で交流を深めた。地域の方をはじめ、岡山西支援学校の生徒や先生、清心女子大学附属高校生、インターンシップの大学生など。 ・広報物としての「御南和やかサロンだより」(別紙あり)を御南小学校区に回覧。近隣公民館や本庁にも設置。子どもセンターのHP、FBでも発信。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>外遊び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>室内遊び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大切な方に絵手紙を描こう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水遊び</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>わらべうたであそぼう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>誕生祭</p> </div> </div>

② 解決を目指した課題

本事業は、子育て世代の孤立化を防ぎ、ニーズに応じ充実した子育て支援の達成のための手法を確立することが課題である。その上での今年度の課題は

①参加者の子ども、大人に常時関わるスタッフの関わり方（見守り方、安心安全への対処、発達障害などに対する専門的知識）の研修を充実する。

⇒・4年目となる今年度は昨年からの登録者 88 世帯に加え、新規の参加者が 102 世帯となった。毎月 3～4 世帯(約 8 人)の親子が増えたことになる。

・外遊びや室内あそび、初めて参加する大人やけんかしている子どもたちにも気配り、目配りしながら、笑顔で安心安全に見守れるとすれば 2 人体制は必至である。

現在のスタッフ (5 人) よりさらに人数的、質的な充実が必要である。

・日々の活動の中で、スタッフが子どもの発達に関する専門的知識を織り交ぜながら対応できるようにスキルアップを目指している。

②幼稚園跡地を使用している利点を生かし、子どもの成長発達のためにも園庭での外遊びができるよう環境を充実していく。

⇒・砂遊びは一年を通じて人気の遊び。夏は水遊び、冬でも外遊びを促して土、水、葉(落ち葉)、風にふれあいながら、自然の中で五感を刺激する遊びが展開できた。

・今年度は、参加者の要望により火曜日、水曜日のサロン開催日だけでなく、月、木、金曜日の平日にも外遊びが充分できるように、外遊び道具の貸し出しを実施した。

・御南和やかサロンの活動に触れていくうちに、外遊びが子どもの成長発達に欠かせないことを理解し、親による見守りのもと屋外での活動が活性化した

他にも、地域の方のみでなく、高校生やインターンシップの大学生など多様な世代との交流の場となることで孤立化を防ぐことができた。

③ 目的・目標の達成状況

⑦ 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況

◎若い子育て世代の親が子どもとともに集い交流し、子育ての情報交換や悩みを相談しあえる場をつくる。

⇒・年間84日開催し、親子のべ3,204人(1日平均38.1人)の参加は、昨年度の参加者数のべ3,266名(90日開催)に比べ開催が6日間少ないにもかかわらず、前年並みであることから、御南和やかサロンが名実とともに認知されてきた。

・7月の西日本豪雨により御南和やかサロンも床上5センチの被害を受け、2週間の閉鎖を余儀なくされた。

・しかし、再開に向けて参加者から多くの支援や協力をいただき、大切に必要なお母さんたちと御南和やかサロンであることを実感した。

◎地域在住の高齢者と若い世代の親とが出会い、関わりあえる場を提供し、地域の多様な世代の人がお互いに支えあう地域づくりをしていく。

⇒・季節の行事や偶数月の「みんなでランチを楽しもう」は猛暑や豪雨で多くの地域の方の参加は望めなかったが、御南西公民館講座の「オカリナラベンダー」の方にクリスマス会に来てもらい交流することができた。「焼き芋を焼こう」の時には地域の方だけでなくインターンシップの大学生もいて、子育て前の若者にサロンの意味や実情を肌で感じてもらえた。

・岡山西支援学校の生徒による野菜販売や職場実習を通じて、高校生と若いママや子どもたち、地域の方とが互いに声をかけあう姿も見られた。

・夏休みには、清心女子高校に通う地元の高校生が和やかサロンにボランティアとして参加した。子どもと水遊びをしたり、お母さんから話を聞いたりして、双方刺激しあえた。

・毎月土曜日に2回開催されるベターライフ御南主催の「親子土曜塾」には、和やかサロンの親子もたくさん参加し、地域の高齢者との関わりも深まってきている。様々な世代との交流やひろがりが見られるようになった。

◎和やかサロンの参加者からは下記の感想が寄せられている。

・「みんな一緒に遊んだり、ご飯を食べたり、時には物の取り合いをしたり、けんかをしたり、いろんな経験ができるので、とてもありがたい場所です。親同士も子育ての話ができるので、毎回サロンに通うのが楽しみです。」

・「スタッフの方も相手のお友達のお母さんも温かく見守ってくれるような環境なので、ケンカするかも…と不安にならずに遊ばせることができます。大人と話す機会が普段ないので、私の大事な社交の場でもあります。」

・「中でも外でもたくさん遊べるし、何よりスタッフの方が親子ともども安心して過ごせる雰囲気を作ってくださっているのが一番です。」

・以上の感想からワンオペ育児(パートナーの単身赴任や仕事で不在の時間が長いため、もう片方が子どもの世話と家事を一人でまわしている状態のを意味する)の解消にもつながっているし、今後も参加者の言葉を信じて、温かく寄り添えるサロンを展開していく。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>①年を重ねるごとに参加者が増加していること、参加者のアンケートからサロンのニーズの高さを踏まえて、今後とも御南和やかサロンが乳幼児連れの若い世代や地域住民の居場所となるよう火曜日と水曜日に継続して開催していく。</p> <p>②季節の行事、親子・異年齢で集う交流の場、多世代交流のできるサロンを目指し、下記の基本の事業は継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じ、文化に触れることのできる体験の場の提供 ・「外遊び」のできる環境づくりと機会の提供 ・親子が異年齢で交流できる場の提供 ・子育てや地域づくりに関する学習会やスタッフ研修の実施 ・「子ども」「地域づくり」「遊び」に関する情報発信 <p>③サロン開催日以外の月・木・金曜日の外遊びも充分できるように、外遊び道具の貸し出しも継続し、徐々に参加者から運営にも協力してもらうようにする。</p> <p>④長期休業中の小中学生がサロンに参加できるように「親子土曜塾」と連携していく。</p>
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御南和やかサロンを4年間実施してきたことで、参加者のみならず地域の中での知名度も高まってきている。さらに校区内でのマンション、新築住宅が増加しており、支援センターや公民館からの紹介や利用者による声掛けなどもあり、新規参加者はますます増加傾向にある ・サロン利用の若い世代は、徐々にサロンの活動に自主的に声かけあって関わってくれるようになった。中でも、7月豪雨災害ではサロンも床上浸水の被害を受けたが、水に濡れた手縫いの人形の服を洗濯してくれたり、スタッフに飲み物をケースでとどけてくれたりした。 ・地域の方や御南小学校の先生方も和やかサロンやベターライフ御南の復旧を優先的に取り組んでくださり、わずか二週間で復旧することができた。地域の中で、必要な居場所となっていることを実感した。 ・持続可能なサロンにしていくためには、スタッフの人材確保や地域の方の協力は、欠かせないので強化していきたい。

<p>○久米地区以外の地域の方とも交流をしていった方がいいと思います。高齢者の参加については、老人会などを通して聞いたら参考になるのでは？</p> <p>○障害を持った方、もしくは高齢者の生きがいをづくり、そこからやりがいに、そして地域力を高めていくような活動をぜひしていただけたらと思います。</p> <p>⇒・当事業を行っている白石幼稚園跡地は、地域の活動・交流の場として開放されており、多くの高齢者の方が日常的に、グラウンドゴルフ、卓球、カラオケ、ラジオ体操、テニス等健康づくりのためとして、楽しまれている。</p> <p>・当サロンの他に「親子土曜塾」「ふれあい土曜塾(高齢者サロン)」も定期開催されており、多世代が集う空間を伴にする場づくりに繋がっている。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。</p> <p>(理由:)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>Ⅱ おおむねできた</p> <p>Ⅲ 一部できなかった</p> <p>Ⅳ まったくできなかった</p> <p>Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	--

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月	日	内	容	
4月	3日 4日 10日 18日	・お花見（親子75名） ・お雛様をしまう ・絵手紙（1名） ・おしゃべり会	スタッフ会議 （8日）	○スタッフ間で 振り返りをし、 共有する。（毎日） ○サロン日誌を 記入する。（毎日） ○外遊び（随時）
5月	8日 16日 29日	・絵手紙（4名） ・おしゃべり会 ・田中西公園へお散歩（親子13組）	スタッフ会議 （8日）	実行委員会 （15日） ○絵本の読み聞 かせや貸し出し （随時）
6月	5日 13日 20日 27日	・絵手紙（2名） ・誕生祭（38名） ・講座「絵本を楽しもう」（大人15名） ・みずあそび開始	スタッフ会議 （5日）	大型テント 設営(26日)
7月	3日 3日 31日	・絵手紙（1名） ・岡山西支援学校生による実習 ・女子高生2名ボランティア	西日本豪雨災害 のため閉鎖、復旧 作業7/8～7/18	○「御南和やか サロンだより」 （毎月発行）
8月	7日 8日 8日	・そうめん流し（65名） ・ペットボトルシャワー作り ・女子高生2名ボランティア	スタッフ会議 （7日）	○スタッフ研修 1) 発達に特性の ある子どもたち の受け止め方 （8/26 4名） 2) スマホ時代の 子どもたちのた めに （9/15 1名） 3) 地域子育て支 援拠点事業従事 者のための基礎 研修 （9/23 1名）
9月	5日 11日 12日 18日 19日 26日	・岡山西支援学校生による実習、 インターンシップ1名 ・岡山西支援学校生による実習 ・講演会「30泊キャンプが教えてくれた 子育てのヒント」（15名） ・岡山西支援学校実習 ・子どものための防災（19名） ・岡山西支援学校による実習	暴風警報のため サロン中止(9/4) スタッフ会議 （11日）	
10月	2日 3日 23日 24日 31日	・絵手紙（3名） ・岡山西支援学校生による実習 ・ミニ運動会（親子43名） ・岡山西支援学校による実習 ・ハロウィン（親子78名）	スタッフ会議 （9日）	
11月	6日 27日 28日	・絵手紙（2名） ・松ぼっくりのミニツリー作り（4名） ・松ぼっくりのミニツリー作り（9名）	スタッフ会議 （7日）	○子育て講演会 （6/20、9/12、9/ 19、1/15、1/22、 1/23、2/13）
12月	4日 11日 12日 12日 18日	・絵手紙（3名） ・クリスマス会(オカリナ ラベンダー の皆さんとともに)（93名） ・和やかバザー（60名）カレー販売 ・岡山西支援学校生の実習 ・お正月しめ縄作り（19名）	スタッフ会議 （5日）	
1月	15日 22日 23日	・講演会「身体を動かすって楽しい」 （17組） ・講演会「生きるって、なに？」（36名） ・こども園の先生とふれあい遊び(12組)	スタッフ会議 （8日）	

2月	5日	・絵手紙 (5名)	スタッフ会議 (5日)		
	13日	・講演会「毎日の子どもの育ちを考える」 (14名)			
	20日	・焼いもを焼こう(26組)			
	20日	・インターンシップの受け入れ3名			
	27日	・岡山西支援学校による実習			
	27日	・インターンシップの受け入れ2名			
3月	5日	・絵手紙 (3名)	スタッフ会議 絵本、名札の 整理 (13日)	実行委員会 (12日)	

84日間開催(昨年より6日減) 一日平均：38.1人
 参加者数：のべ人数 3,204 人 (大人 1,482 人、子ども 1,722 人)

⑩ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	101,000	101,000	
負担金			
参加費	31,000	44,600	
寄付、他収入	60,000	56,019	バザー、寄付など
協賛金	10,000	10,000	ベターライフ御南
計	202,000	211,619	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	118,141	月刊絵本、外遊び用具、カーペット、用紙等
②食糧費	5,000	5,650	会議用お茶
③印刷製本費	10,000	15,919	コピー代
④燃料費	10,000	9,252	灯油代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	1,000	1,240	切手@62×2シート
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	10,000	18,441	サツマイモ、そうめん、和やかンパザーでのカレー材料など
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	56,000	38,976	講師謝金7名分
⑭保険料			
⑮旅費			
研修費	10,000	4,000	研修会参加費
計	202,000	211,619	